

バババルーン広島千田 自己評価結果

討議年月日: 令和 7 年 12 月 21 日

公表: 令和 8 年 2 月 1 日

事業所名 バババルーン広島千田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	0	来所人数や活動内容に応じて机や棚の配置を調整し、活動の目的に応じた環境設定を行っている。	今後も利用状況を踏まえ、より安全で落ち着いて活動できる環境づくりに努める。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1	0	基準に基づいた職員配置を行い、日々の利用児の人数や特性を踏まえながら、役割分担や声かけ等を工夫して支援を行っている。	利用児のメンバー構成や支援内容によっては、より手厚い支援が必要と感じる場面もあるため、必要に応じて配置の見直しや応援体制の検討を行い、安全で質の高い支援の提供に努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	0	現状、建物構造上の制約もあり、全面的なバリアフリー化には至っていないが、利用児の安全面に配慮し、室内の整理整頓や動線の確保に努めている。	今後、利用児の特性や必要性に応じて、環境面での配慮や安全確保の工夫を検討し、可能な範囲でバリアフリー化に向けた改善を進めていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1	0	日々の支援後に振り返りを行い、職員間で気づきを共有している。	全職員がより主体的に業務改善に関われるよう、話し合いの機会を充実させる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	0	保護者アンケートを実施し、意見を業務改善に活かしている。	今後も継続的に意見を収集し、より満足度の高い支援につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	0	自己評価の結果をホームページ等で公表している。	引き続き、分かりやすい情報発信を心がけていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	3	現時点では実施していないが、自己評価を通じて業務改善に努めている。	第三者評価の導入について、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	0	0	職員の資質向上を目的とした研修や情報共有の機会を確保している。	研修内容の充実を図り、支援の質のさらなる向上を目指す。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	0	アセスメントを基に、子どもと保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成している。	今後も定期的な見直しを行い、より適切な支援につなげていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	1	2	事業所内では標準化されたアセスメントツールの実施は行っていないが、保護者から発達検査等の結果を共有していたり、その内容を参考にしながら子どもの特性や課題の把握に努め、日々の支援に生かしている。	今後も保護者や関係機関との情報共有を大切にし、提供される検査結果や評価を支援計画や支援内容に適切に反映できるよう、職員間での理解と共有をより一層図っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	0	職員間で意見交換を行い、子どもの状況や目的に応じた活動プログラムを検討している。	今後も職員間の連携を強化し、より質の高いプログラム立案を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	0	制作活動や運動、外出活動等を取り入れ、内容が偏らないよう工夫している。	子どもの興味や成長に応じ、さらに多様な活動を検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	0	0	利用時間や生活リズムに配慮し、時期に応じた活動内容を設定している。	今後もそれぞれの期間の特性を踏まえ、より充実した支援内容となるよう工夫する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	0	1	2	個別活動としてのプログラムは実施していないが、集団活動を基本としつつ、子どもの状況や特性に応じて個室等を活用し、気持ちの切り替えや落ち着きが必要な場面では個別に対応するなど、柔軟な支援を行っている。	活動の選択肢を広げ、より柔軟な支援提供を目指す。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0	朝礼を実施し、その日の活動内容や役割分担を確認している。	打合せ内容をより明確にし、支援の質の均一化を図る。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	0	支援終了後に振り返りを行い、気付いた点を職員間で共有している。	振り返りを記録に反映し、次回以降の支援改善につなげていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	0	0	日々の支援内容を記録し、支援の振り返りに活用している。	振り返りの内容を次回の支援や支援計画の見直しに反映させることで、より質の高い支援につなげていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	0	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを実施している。	引き続き適切な時期に見直しを行い、支援の質向上を図る。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	0	0	ガイドラインの基本活動を組み合わせ、総合的な支援を行っている。	ガイドラインの理解を深め、より効果的な支援実践につなげる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	0	0	子どもの状況を把握している職員が会議に参加し、情報共有を行っている。	関係機関との連携をさらに強化し、より適切な支援につなげていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1	0	送迎時の確認や保護者との情報共有を通じて、子どもの下校時刻や日々の状況を把握している。 また、トラブル発生時には、まず保護者と情報を共有した上で、必要に応じて学校とも連絡を取り、担任や関係職員を交えた担当者会議を実施するなど、連携を図っている。	今後も連携を継続し、より円滑な支援体制の構築を図る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	3	現在、医療的ケアが必要な利用はないが、受入れに向けた体制整備について情報収集を行っている。	必要となった場合に備え、関係機関との連携体制について検討を行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	1	入学前に通っていた児童発達支援事業所等で作成された、子どもの特性や支援内容が記載された記録について、保護者から提供を受け、支援の参考として活用している。	今後は、保護者の同意を得た上で、必要に応じて就学前に利用していた事業所等との情報共有も検討し、より一貫性のある支援につなげていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	1	2	現在、学校卒業後に放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する事例はない。	今後、移行支援が必要となった場合に備え、関係機関と連携し、これまでの支援内容や配慮事項等の情報提供が行える体制づくりを進めていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	0	3	現在、児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と、定期的な連携や助言・研修の受講には至っていない。	今後、必要に応じて専門機関との連携を検討し、助言や研修を通して支援の質の向上につなげていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	0	公園や公共施設の利用等を通じ、地域資源に触れる機会を設けている。	子どもの特性や安全面に配慮しながら、交流の在り方について検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	3	現在、(地域自立支援)協議会等への積極的な参加には至っていない。	今後、地域の動向や事業所の体制を踏まえながら、(地域自立支援)協議会等への参加を検討し、地域との連携や支援体制の理解を深めていく。

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	0	0	送迎時やLINE等のツールを活用し、日々の様子や課題について情報共有を行っている。	今後も丁寧な情報共有を継続し、共通理解を深めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	0	個別相談を通じて、育児に関する助言や支援を行っている。	保護者のニーズを踏まえ、支援方法の充実を検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	0	契約時や必要に応じて、運営規程や支援内容等について丁寧な説明を行っている。	今後も分かりやすい説明を心がけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	保護者からの相談に対し、随時助言や支援を行っている。	引き続き、相談しやすい体制づくりを進めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	3	現時点では、父母の会の活動支援や保護者会の開催など、保護者同士の連携を目的とした取り組みは行っていない。	今後、保護者のニーズや事業所の運営状況を踏まえ、必要に応じて保護者同士が情報交換できる機会のあり方について検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	苦情対応体制を整備し、迅速な対応に努めている。	引き続き、適切な対応と周知を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	0	0	ホームページやSNSツール等を活用し、活動内容や行事予定の発信を行っている。	今後も継続的な情報発信に努める。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	0	0	個人情報保護に関するルールを遵守し、適切な管理を行っている。	引き続き管理体制の徹底を図る。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0	絵カード等の視覚的な支援ツールを活用し、理解しやすい伝え方を心がけている。保護者との情報共有については、口頭でのやり取りに加え、LINE等の文字として記録が残るツールを活用し、確実な情報伝達に努めている。	今後も、子ども一人ひとりの特性や保護者の状況に応じた情報伝達の方法を工夫し、より円滑な意思疎通が図れるよう取り組んでいく。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	2	現時点では、事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営に関する取り組みは行っていない。	今後、地域との関わり方や利用児・保護者への影響を考慮しながら、地域に開かれた事業運営のあり方について検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	0	各種マニュアルを整備し、職員へ周知している。	定期的な見直しを行い、内容の充実を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	0	定期的に避難訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。	今後も継続的に訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	0	0	虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上を図っている。	引き続き研修を行い、適切な支援体制を維持する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	0	身体拘束に関する方針を定め、必要時には事前説明を行っている。	身体拘束を行わない支援を基本とし、理解促進に努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	0	医師の指示書に基づき、適切な対応を行っている。	引き続き安全管理を徹底する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	0	ヒヤリハット事例を記録し、職員間で共有している。	事例を活かし、事故防止意識の向上につなげていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。